

# 第10 産業経済



## 第 10 産 業 経 済

本県経済は、回復基調にあるものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、飲食・宿泊・旅行などのサービス産業から、製造業に至るまで、様々な産業分野において依然として厳しい経営を強いられている。

産業経済部では、商工団体や金融機関等と連携し、制度融資による資金繰り支援、ストップコロナ！対策認定制度の実施、営業時間短縮要請に応じた事業者に対する協力金や支援金の支給など、県内企業の事業継続に向けた支援に注力するとともに、県民を対象に宿泊料金の割引などを行う「愛郷ぐんまプロジェクト」により、県内の観光需要を喚起した。

また、既存産業の強みを生かしながら、時代の変化に合わせた成長機会を探求するため、DXの推進と新たなビジネスへ挑戦するとともに、様々なリスクや環境の変化に柔軟に対応できる産業の構築に向けて、スタートアップ支援やスマートファクトリー化などに取り組んだ。さらに、群馬の新たな魅力の創造・発信等を進めるため、eスポーツ大会の開催やロケ誘致の推進、クリエイティブ人材育成拠点「tsukurun」の整備等を行った。

### 【令和3年度の重点施策及び主な取組】

- 1 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者への支援
  - ・ストップコロナ！対策認定制度
  - ・営業時間短縮要請等に応じた事業者への協力金や支援金の支給
  - ・県民を対象にした宿泊料金の割引等による観光需要喚起
- 2 DXの推進と新たなビジネスへの挑戦
  - ・県内中小企業が行うデジタル技術を活用した製品開発・DX推進等を支援
  - ・ニューノーマルの視点から、ストップコロナ！対策認定店の取組を支援
  - ・スタートアップに対する短期集中型支援の実施
- 3 様々なリスクや環境の変化に柔軟に対応できる産業の構築
  - ・産業分野におけるSDGsの推進
  - ・企業のスマートファクトリー化支援のため、デジタルソリューションラボを設置
  - ・支援機関と連携した伴走型支援の実施
- 4 群馬の新たな魅力を創造・発信
  - ・ニューノーマルに対応した新たな観光スタイルの構築を支援
  - ・eスポーツの推進やロケ誘致強化のための事業の実施
  - ・クリエイティブ拠点化に向けた人材育成拠点の整備

## 1 産業政策費

### (1) 社会参加費

決算額 57 千円

職員が地域社会に積極的に参加することにより、県民の声を聞き県政に反映するとともに、県政の方針や事業等について県民の理解と協力を求めるため、各種団体との会合に伴う会費等を支出した。

所 属 数	金 額
産 業 経 済 部 7 課 7 所	57 千円

### (2) 産業政策企画推進

決算額 7,400 千円

#### ① 産業情報収集・産業振興基本計画策定・サポートガイド作成

ア 経済産業省等の発表資料や、県内中小企業・関係団体に関わる情報を収集、分析し、県内経済の状況を把握したほか、県内中小企業の経営実態や将来の見通し等を把握するため、経済団体(中小企業団体中央会、商工会議所連合会、商工会連合会)等と協力して、アンケート調査を実施した。

イ 県や国等の中小企業支援施策、制度を網羅した「企業サポートガイド」を作成した。

#### ② ヘルスケア産業振興

産学官の連携により、ヘルスケア産業に関連する新たなビジネス創出や展開へ取り組む事業者の掘り起こし及び支援を行い、商品化や事業化に向けたビジネスモデル構築を実施した。

・プロジェクト件数 4 件 (産学官関係者 15 者)

#### ③ SDG s 推進

産学官金連携のもと、県内企業の SDG s への取り組みを推進するぐんま SDG s 推進ネットワークに対して、負担金を支出し、SDG s を企業の経営戦略として活用する企業を増やし、持続可能な経営への転換を促すための普及啓発や情報発信事業を実施した。

区 分	参 加 者
普及啓発 (群馬県中小企業 SDG s 始動事業)	延べ 32 団体・193 名
情報発信 (SDG s ぐんまビジネスプラクティス紹介団体)	46 団体

### (3) 感染症対策産業経済支援

決算額 47,209,778 千円

#### ① 物資供給管理システム運営

新たな生活様式への対応が求められる中、品質の高いマスクを地産地消により安定的に供給するプロジェクト「群馬県マスク地産地消推進プロジェクト」を実施。県産マスクを安心して確実に購入できるように、物資供給管理システムの運営と民間事業者のノウハウを活用した仕組みを運用した。

協力企業数	購入申込枚数	金 額
6 社	96 万枚	18,110 千円

② 営業時間短縮要請協力金

新型コロナウイルス感染症対策のため県の営業時間短縮等要請に協力した飲食店等に対し、協力金を支給した。

(令和4年3月31日現在)

区分	要請期間	支給件数	支給金額
令和2年度 繰越分	—	11,914件	7,289,540千円
第1弾	令和3年5月8日～6月13日	33,921	37,647,430
第2弾	令和3年6月14日～6月20日		
第3弾	令和3年8月7日～9月12日		
第4弾	令和3年9月13日～10月7日		
第5弾	令和4年1月21日～2月13日		
第6弾	令和4年2月14日～3月6日		
第7弾	令和4年3月7日～3月21日		

③ 感染症対策事業継続支援金

新型コロナウイルス感染症の拡大等により、売上げが減少した事業者に対し、支援金を支給した。

区 分	支給件数	支給金額
令和3年5、6、8～10月分	7,814件	1,048,608千円

④ 感染症対策県内企業ワンストップセンター設置

県内企業が抱える新型コロナウイルス感染症に起因する資金繰りや雇用維持等の相談に対応した。

(令和4年3月31日現在)

区 分	相談件数
感染症対策県内企業ワンストップセンター	9,164件

⑤ 医療用物資確保対策補助金

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、感染予防に欠かせない物資の早期確保の実現や安定的な供給体制の構築を目的に、医療用物資の生産設備を導入する事業者に対し、経費の一部を補助した。

区 分	件 数	補助額
医療用物資確保対策補助金	2件	99,471千円

(4) 未来投資促進

決算額 240,595千円

本社機能や試験研究施設の移転、県内企業の投資拡大を促進するため、東京圏、大阪圏での営業、企業誘致推進補助金や地域未来投資促進法等の優遇措置の活用など、積極的な誘致活動を展開した。その結果、令和3年工場立地動向調査において、立地件数(49件)で全国第4位、立地面積(67.2ha)で同第6位と全国上位の実績に繋がった。

区 分	事業費
情報発信資料の作成配布 (PR動画、ターゲット企業調査等)	2,244千円
企業誘致専門員の配置 (東京)	2,627
企業誘致推進補助金の活用 (交付件数: 7件)	234,481

(5) 計量検定所 決算額 26,709 千円

計量法に基づき、特定計量器の検定及び検査等を実施するとともに、特定計量器を製造又は使用する事業者に対する立入検査を行い、正確な計量器の供給と適正な計量の確保を図った。

区 分	検定・検査数
検定（タクシメーター、燃料油メーター、血圧計等）	13,048 個
検査（基準器検査、計量証明検査等）	294
立入検査（燃料油メーター、商品量目、届出・登録事業者等）	55 戸
「指定定期検査機関」による定期検査	2,368 個

2 経営支援費

(1) 貸金業対策 決算額 907 千円

貸金業法に基づき、資金需要者等の利益の保護を図るため、貸金業者の登録及び立入検査並びに苦情相談の処理を行った。

登録処理数 (うち更新登録)	登録業者数(令和3年度末)	立入検査件数	苦情相談処理件数
4件(4件)	10業者	4件	5件

(2) 新型コロナウイルス感染症対策関連制度融資基金積立 決算額 1,571,345 千円

新型コロナウイルス感染症対策関連制度融資の運営に要する経費（信用保証料補助及び利子補給）の財源に充てるため、基金への積立てを行った。

(3) 中心市街地・商業活性化推進 決算額 1,138 千円

① 商店街活性化支援

商店街の活性化を図るために商店街団体等が行うハード事業に対し、市町村を經由して助成を行い、商店街の活性化に寄与した。

・商店街活性化支援（ハード事業）

市町村名	事業主体	事業費	補助額	事業内容
桐生市	桐生市本町六丁目商店街振興組合	4,026千円	1,000千円	アーケード塗装による商業景観向上

② 商店街振興組合指導

県商店街振興組合連合会が商店街振興組合に対して実施する、組合運営に関する指導、各種研修事業を支援した。

事業主体	事業費	補助額	事業内容
群馬県商店街振興組合連合会	138千円	138千円	指導事業、近代化講習

(4) 大型店対策 決算額 972 千円

① 県大規模小売店舗立地審議会運営

大規模小売店舗の立地に際し、その周辺地域の生活環境を保持する観点から、「群馬県大規模小売店舗立地審議会」を開催し、大規模小売店舗立地法の趣旨に則って、公平で適正な審査を実施した。

・大規模小売店舗立地法による審査

区 分	審 議 件 数	審 議 状 況
新 設 案 件	26件	意見なし：26件
変 更 案 件（増床等）	3	意見なし：3
計	29	意見なし：29

・群馬県大規模小売店舗立地審議会 令和3年度開催回数 6回

・群馬県大規模小売店舗立地審議会現地調査 令和3年度実施回数 29回

② 大規模小売店舗立地法に係る届出事務処理・指導

「大規模小売店舗の地域貢献ガイドライン」に基づき、大規模小売店舗が行う様々な地域貢献活動に係る実施状況報告書等の県への報告を求めており、県ホームページで公開している。

・提出状況

(令和4年3月31日現在)

区 分	店 舗 数
地域貢献ガイドライン計画書	63店舗
地域貢献ガイドライン報告書（計画書提出から3年以内に提出）	44

※対象店舗（店舗面積6,000㎡超の大規模小売店舗）は71店舗

(5) サービス産業振興・物流機能強化推進

決算額

302千円

① サービス産業振興

ストップコロナ！対策認定店を対象に、情報発信力を強化するため、GBP（Google ビジネスプロフィール）をテーマとした登録支援セミナーを開催した。

区 分	参加人数
GBPセミナー テーマ：GBPの概要と登録方法の紹介 講 師：松本嘉津美氏（株式会社フェズ・地域DX推進グループリーダー） 期 日：令和4年3月18日 場 所：群馬県庁32階 官民共創スペース NETSUGEN ※リアル会場とオンライン配信のハイブリッド方式での開催	69人

② 物流機能強化推進

物流業界の働き方改革や物流DXについて事業者が発信するため、セミナーを開催した。

区 分	参加人数
物流セミナー テーマ：「ドライバー不足問題の背景と今後の対応～2024年問題と働き方改革への取り組み」 講 師：大島弘明氏（株式会社NX総合研究所 取締役） 期 日：令和4年3月25日 場 所：群馬県庁32階 官民共創スペース NETSUGEN ※リアル会場とオンライン配信のハイブリッド方式での開催	61人

区 分	参加人数
物流DXセミナー テーマ：「地域を支える物流DX」 講 師：佐藤健次氏(株式会社Hacobu執行役員CSO) 期 日：令和4年1月25日 場 所：群馬県庁32階 官民共創スペースNETSUGEN ※リアル会場とオンライン配信のハイブリッド方式での開催	24人

(6)ニューノーマル創出支援 決算額 135,988 千円

① ストップコロナ！対策認定制度

消費者からの信頼性の確保や消費喚起による地域経済の活性化を図るため、各業界団体等が作成した感染症対策ガイドライン等に基づき、感染症対策を適切に行っている店舗を「ストップコロナ！対策認定店」として認定した。

国の「ワクチン・検査パッケージ制度」に基づき、飲食店等の事業者の登録手続きを行った。感染対策の質を担保するため、認定店（飲食店・社交飲食店）の再調査を実施した。

区 分	件 数
ストップコロナ！対策認定店	4,622件
ワクチン・検査パッケージ登録	369
認定店の再調査	1,343

② ニューノーマル創出支援事業費補助

「ストップコロナ！対策認定制度」の認定を取得した中小・小規模事業者が、3事業者以上集まって新たに取り組むビジネスプランを募集し、応募のあった提案に対して、審査会を実施した上で、新型コロナ時代に対応する新しいビジネスのモデル的な取組を選定し、実施を支援した。

区 分	件 数	補 助 額
ニューノーマル創出支援事業	15件	12,257千円

(7)経営力強化支援 決算額 162,326 千円

① 経済環境の変化に対応して、新事業や新分野進出などに取り組み、経営の向上を目指す中小企業を支援するため、中小企業等経営強化法に基づく「経営革新計画」の承認を行った。計画の承認を受けた企業では、制度融資等支援措置の活用による設備投資、新たな事業活動による受注拡大のほか、社外（金融機関、取引先）からの評価の向上、社内におけるモチベーションの向上等の成果が上がっている。

区 分	件 数
経営革新計画の承認	41件

② 東京海上日動火災保険(株)との協定に基づき、県内企業のBCP（事業継続計画）策定支援や新型コロナウイルスに対応したBCP策定ワークショップ等を行ったほか、中小企業の経営力強化支援の一環として各種セミナーを開催した。



区 分	参加人数
BCP（事業継続計画）セミナー	
基礎セミナー	95人
新型コロナウイルスBCP策定講座	38
事業継続力強化計画策定ワークショップ（計2回）	11
BCP策定ワークショップ（計2回）	24
BCMセミナー	8

- ③ 中小企業の中核的支援機関である（公財）群馬県産業支援機構の運営費を助成し、中小企業経営力強化、地域経済の活性化を図った。

事業名	補助額
（公財）群馬県産業支援機構運営費補助	115,617千円
（公財）群馬県産業支援機構事業助成	16,135

・令和3年度事業実績（主な事業）

区 分	内 容
経 営 支 援	経営総合相談窓口運営（相談1,881件）、よろず支援拠点（相談10,094件）、事業承継・引継ぎ支援センター（相談362件、成約46件）、創業支援（相談467件）、プロフェッショナル人材戦略拠点（相談240件、成約28件）、中小企業再生支援協議会（相談77件、再生計画策定実績87件）
取 引 開 拓 支 援	下請取引あっせん（紹介276件、成立37件）、広域商談会（受注商談145件）・個別商談会（商談106件）の開催、展示会出展支援（1回、7社）、下請取引適正化事業（相談196件）
ものづくり技術・産学連携支援	群馬ものづくり現場新人研修（1回、85人）、I o T・A I等普及促進支援（相談173社）、戦略的基盤技術高度化支援（2件）

- ④ プロフェッショナル人材戦略拠点

ア 潜在的成長力の高い中堅・中小企業を中心に、新商品開発、新規販路開拓をはじめとした新たなチャレンジを積極的に促し、その実現に不可欠となるプロフェッショナル人材の採用をサポートするため、群馬県産業支援機構に「群馬県プロフェッショナル人材戦略拠点」を設置し、相談対応やマッチング支援を行った。

区 分	件 数
相 談 件 数	240件
人材紹介会社への取次件数	161
マッチング成約件数	28

イ 中小企業向けのセミナーを開催し、事業の周知及び攻めの経営を促すための啓発を行った。

区 分	参加人数
中小企業のデジタル人材活用に関するセミナー	85人

(8)事業承継支援

決算額

2,628千円

県内中小企業の円滑な事業承継を促進するため、「事業承継診断」、「事業承継計画」策定支援のほか、承継課題、経営課題の見える化とデジタル技術の活用等による経営力強化に向けた専門家派遣を実施した。

さらに、第三者承継（M&A）、ベンチャー型事業承継への理解と取組を進めるためのセミナーを実施した。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
事 業 承 継 支 援	支援機関（商工団体、金融機関、税理士会等）の協力を得て、県内中小企業の事業承継診断、事業承継計画策定を支援するとともに、課題の見える化、磨き上げに向けた専門家派遣を行った。 ・事業承継診断実施件数 : 6,706件 ・事業承継計画策定件数 : 487 ・専門家派遣 : 13事業者 ・M&Aセミナー(全3回) 令和3年11月16日 : 参加者48人 令和3年12月22日 : 36 令和4年 1月24日 : 34 ・ベンチャー型事業承継セミナー 令和4年 1月28日 : 参加者72人	2,628千円

(9)スタートアップ支援

決算額

13,269千円

- ① 新たなビジネスモデルやプロダクト・サービスを有するスタートアップやベンチャー企業、事業者が登壇するイベント（NETSUGENピッチ）を実施した。

区 分	開催回数	登壇者数	聴講者
NETSUGENピッチ	10回	39者	608名

- ② スタートアップ、起業家という切り口でビジネスを学び、興味関心を深めてもらうことを目的としてオンライン配信セミナーを実施した。

区 分	視聴回数 (令和4年6月16日現在)
スタートアップ・エコシステム 醸成セミナー	通常版 : 129回 高校生向け : 226回

- ③ 成長する意欲を有するスタートアップ、ベンチャー企業に対して、専門事業者による短期集中的な経営支援プログラム（アクセラレーションプログラム）を実施した。

区 分	内容
ぐんまスタートアップ アクセラレーション プログラム	支援対象者数 : 6者 プログラム提供期間 : 4ヶ月間 成果発表会参加者数 : 54名

- ④ 金融機関、研究機関等と設立したコンソーシアムにより、研究開発型のスタートアップの創出に向けた支援を実施した。

区 分	事業内容	事業費
ぐんまテックプランングラ ンプリ	<p>大学等の研究機関や企業の科学技術の事業化を支援するため、研究シーズをプレゼンテーションするコンテストを開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加者：来場者50名           オンライン視聴 28名</li> <li>ファイナリスト：9チーム (エントリー 24 チーム)</li> <li>パートナー企業：6社</li> </ul>	5,000千円

- ⑤ スタートアップ事業拡大支援を目的として、地域（県域）で閉ざされた環境ではなく、県域を越えた支援が獲得可能な環境を創出するため、関東経済産業局、茨城県、栃木県と連携したピッチイベントを開催。

区 分	登壇者数	聴講者
北 関 東 ピ ッ チ	6者	112名

(10) 創業支援 決算額 57,297千円

- ① 創業前後の相談に対する専門マネージャーによるワンストップでの相談支援等を実施するとともに、創業者のビジネスプランに対して事業化の支援を実施した。

区 分	事業内容	事業費
創業支援センター運営	<p>創業支援センター運営（創業専門マネージャー1名）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相談件数 467件</li> </ul>	3,362千円
ぐんま創業者支援塾	<p>支援を希望する創業者を公募し、講座を開催するとともに、専門家派遣やマッチングなどの支援を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>支援創業者 5人</li> </ul>	

- ② 創業者創出ミーティングを開催し、学生や女性の創業機運醸成を図った。

区 分	事業内容	事業費
創業者創出ミーティング の開催	<p>学生や女性が創業者と交流する場として「創業者創出ミーティング」を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>伊勢崎商業高校（参加者 26名）</li> <li>藤岡北高校（参加者 21 ）</li> <li>西邑楽高校（参加者 178 ）</li> <li>太田高校（参加者 13 ）</li> <li>前橋高校（参加者 38 ）</li> <li>大泉高校（参加者 31 ）</li> <li>尾瀬高校（参加者 12 ）</li> <li>高崎商業高校（参加者 280 ）</li> <li>女性創業者創出ミーティング (参加者 35 )</li> </ul>	354千円

- ③ 地域課題の解決に向け、新たに起業する者に対して起業支援金の交付と、起業後のフォローアップにより、創業から事業の安定化に向けた支援を実施した。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
地方創生起業支援	地域課題の解決に向けて新たに起業した者を対象に起業支援金の交付と、起業後の伴走支援を実施。 ・起業支援金31名、44,945千円	53,579千円

(11) 中小企業連携組織対策 決算額 131,130千円

群馬県中小企業団体中央会に人件費を補助し、中小企業の組織化及び事業協同組合等への指導を行うとともに、同会が行う会員の人材育成や経営力強化などを支援し、中小企業の連携組織対策の推進を図った。

事 業 名	補 助 金 額
群馬県中小企業連携組織対策事業費補助金	131,130千円

・補助対象職員数・指導実績

区 分	内 容
補助対象職員数	指導員18人、職員2人
指導実績	実地指導979件、窓口指導2,129件

(12) 小規模事業対策 決算額 1,645,137千円

① 小規模事業経営支援事業費補助

商工会・商工会議所が行う経営改善普及事業等及び商工会連合会が行う商工会指導事業等に助成し、小規模事業者の振興と経営の安定を図った。

主な事業活動の内容は、次のとおり。

- ・金融、税務、経理、販売管理、労務、技術の改善その他経営に関する指導等
- ・小規模事業者の経営の改善発達に資する地域の活性化又は商工業の振興に関する事業の実施、協力、指導
- ・経営、技術、各種制度等に関する情報、資料の収集及び提供

令和3年度における主な事業実績等は以下のとおり。

・補助対象職員設置数 (令和3年4月1日現在)

区 分	団体数	経営指導員	経営支援員 (旧補助員)	経営支援員 (旧記帳専任職員)	事務 局長
商 工 会	43団体	91人	49人	27人	30人
商 工 会 議 所	10	70	22		3
商工会連合会	1	16	5		
計	54	177	76	27	33

・指導実績

区 分	指 導 件 数		
	巡回指導	窓口指導	創業指導
商 工 会	30,962件	32,960件	213件
商 工 会 議 所	13,321	20,271	359
商 工 会 連 合 会	878	1,028	21
計	45,161	54,259	593

・補助額

区 分	補 助 金 額
商 工 会	965,390千円
商 工 会 議 所	488,561
商 工 会 連 合 会	181,177
計	1,635,128

② 小規模事業者エキスパートバンク事業費補助

商工会議所及び商工会連合会が小規模事業者及び創業を予定する者に専門家を派遣し、指導助言等を行うことにより、経営改善を図る経費の支援を実施した。

事 業 名	事 業 内 容	補 助 金 額
小規模事業者エキスパートバンク事業費補助	派遣回数：108件	3,706千円

③ 商工会議所連合会補助

群馬県商工会議所連合会が行う商工業者振興事業等及び各商工会議所が行う広報活動事業等に助成し、商工会議所連合会及び各商工会議所の健全な育成と振興を図った。

事 業 名	補 助 金 額
群馬県商工会議所連合会補助	6,300千円

④ 中小企業サポーターズ制度

県内の金融機関と、中小企業支援機関との連携による企業支援制度「群馬県中小企業サポーターズ制度」を県が運営し、きめ細かな中小企業の経営支援を展開することにより、県内中小企業の経営力のさらなる向上を図った。

区 分	発行回数
県中小企業サポーターズメールマガジン	28回

(13) ぐんまGo To Eat

決算額

186,088千円

新型コロナウイルス感染症「第5波」収束後の経済活動再開に向けた需要喚起を図るため、ワクチン2回接種済者を対象とし、従来のプレミアム率に5%上乗せ（プレミアム率30%）したGo To Eat食事券の販売を実施した。

事 業 名	事 業 内 容	事 業 費
ぐんまGo To Eatワクチンプレミアム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 販売部数：160,000冊</li> <li>・ 販売期間：令和3年10月15日～11月15日</li> <li>・ 販売方法：対面販売（県内ショッピングセンター等10箇所）</li> <li>・ 利用期間：令和3年10月15日～12月31日</li> <li>・ 利用可能店舗数：3,526店</li> </ul>	186,088千円

### 3 地域企業支援費

#### (1) 中小企業技術振興対策

決算額 65,592千円

- ① 中小企業の新技术・新製品開発に補助し、デジタル技術を活用した製品開発やDX推進等を支援することにより、「稼ぐ力」の向上を図り、競争力を高めた。

区 分	事業者数	対象事業費	補助金額
ぐんまDX技術革新補助金	35社	125,044千円	55,242千円
DX推進・地域課題解決タイプ	11	98,369	46,787
市町村・県連携タイプ	24	26,675	8,455

- ② 専門家による参入セミナー、認証取得に係る技術指導、国内外展示商談会の出展支援等を実施し、県内中小企業の航空宇宙産業への参入支援を行った。

区 分	事業内容	事業費
「フライングカーテックノロジー」出展支援	開催日時：令和4年2月2日～4日 場 所：東京ビッグサイト南3ホール 出展企業：3社1団体（商談数27件）	4,267千円
JISQ9100内部監査員養成研修	開催日時：令和3年12月8日～9日 参加人数：14名（6社）	
参入支援セミナー	開催日時：令和3年9月（オンライン配信） 参加人数：29名	
3D金属積層技術講座	開催日時：令和4年2月～3月（全5回） 参加人数：8名（8社）	

#### (2) 次世代モビリティ産業参入支援

決算額 17,410千円

- ① 「自動車サプライヤー支援センター」を設置し、カーメーカーから招聘したコーディネーターを中心に、次世代自動車関連技術への県内企業の参入を支援した。

区 分	事業内容	事業費
企業ヒアリング	地域の自動車関連企業等の経営課題をヒアリング 実施企業：57社+アンケート49社	14,452千円
基礎調査	本県自動車部品産業の現状・課題の整理、販路戦略や技術戦略、人材戦略等の方向性の基礎調査を実施 ・調査概要報告会 開催日時：令和4年3月4日 参加人数：72名	
最新動向セミナー	・経営層向け業界最新動向セミナー 開催日時：令和3年7月16日 参加人数：222名 ・カーメーカーの技術動向セミナー 開催日時：令和3年9月～10月（オンライン配信） 参加人数：133名 ・サプライヤー向けデジタル化講座 開催日時：令和4年2月17日 参加人数：32名	

- ② EV化を見据えた関連技術の知識や技術の理解を促進し、ハードウェアとソフトウェアの両方の知識を有するエンジニアを育成する講座を実施した。

区 分	事 業 内 容	事業費
最新動向セミナー	デジタルエンジニアリングに関する入門セミナー 開催日時：令和3年10月15日 参加人数：33名	2,958千円
人材育成講座	製品開発手法として自動車業界で活用が進んでいる、コンピューターを利用したシミュレーション技術（CAE）やモデルベース開発（MBD）についての講座を開催。 ・CAE講座 開催日時：令和4年1月27日～28日 参加人数：10名 ・MBD講座 開催日時：令和4年2月2日～3日、9日～10日 参加人数：10名	

(3)スマートファクトリー創出支援 決算額 32,046千円

県内中小企業へのIoT・AI・ロボット・5G等のデジタル技術の導入を支援し、スマートファクトリー化の実現による競争力強化を図った。

区 分	事 業 内 容	事業費
スマートものづくりコーディネーター	・IoT・AI等導入推進のため、コーディネーターを配置し、企業の現場で助言・指導を実施 導入支援数：27社 ・IoT・AIセミナー 開催日時：令和3年7月9日 参加人数：153名（90社） ・先進企業視察 開催日時：令和3年8月4日 参加人数：28名（18社）	32,046千円
IoT活用人材育成講座	開催日時：令和3年12月～令和4年3月 参加人数：15名（10社）	
ロボット導入支援コーディネーター	ロボット導入に係る相談対応や専門家派遣 企業訪問：のべ159社 専門家派遣：のべ12社	
ロボットシステムインテグレーター育成講座	・導入支援セミナー 開催日時：（第1回）令和3年12月21日 （第2回）令和4年3月15日 参加人数：（第1回）44名、（第2回）47名 ・ロボットシステムインテグレーター育成講座 開催日時：令和4年2月（全7回） 参加人数：22名	

区 分	事 業 内 容	事 業 費
ローカル5G活用講座	開催日時：令和4年1月～2月（全4回） 参加人数：22名（15社）	
ロボット導入実証	県内企業のロボット導入に向けたシミュレーション（導入検討）に係る費用の一部補助 事業者数：1社 補助金額：1,000千円	

(4) 海外ビジネス展開支援 決算額 13,513千円

- ① 事業者の海外展開に関する具体的な課題解決のため、ジェトロや金融機関等の支援機関と連携して事業を実施した。

区 分	事業内容
ジェトロ群馬貿易情報センターとの連携	・貿易投資相談件数：449件 ・セミナー、商談会：25回 （うち県との共催事業8回） ・ハンズオン支援：12社
金融機関との連携（群馬銀行）	・ベトナム最新動向セミナー 日 程：令和4年2月22日 方 法：オンライン 参加者：85人

- ② 輸出に関する基礎知識の習得から実践となる商談会参加までを一貫して体験する、パッケージ型の支援を行った。

区 分	事業内容	事 業 費
グローバルビジネス実践塾	参加企業数：15社（加工食品・雑貨事業者） セミナー・ワークショップ：5回 模擬商談会：1回	9千円

- ③ 国際見本市に群馬県ブースを設け、県内企業に海外バイヤーや国内商社との商談機会を提供した。

区 分	事業内容	事 業 費
東京インターナショナル・ギフト・ショー春2022	日 程：令和4年2月8日～10日 場 所：東京ビッグサイト 出展企業数：6社 商談件数：105件	1,068千円
FOODEX JAPAN 2022	日 程：令和4年3月8日～11日 場 所：幕張メッセ 出展企業数：2社 商談件数：406件	592



- ④ 雑貨や工芸品、繊維等の非食品系事業者を対象に、輸出商社や海外バイヤーとのマッチングを実施した。

区 分	事業内容	事業費
輸出ビジネスマッチング ～雑貨・工芸品・日用品・フ ァッション分野～	日 程：令和4年3月16日 参加企業数：15社 商談件数：35件	1,980千円

(5) 受発注振興対策 決算額 39,424千円

- ① 展示商談会「群馬ものづくりフェア」や都内展示会への共同出展事業を実施するほか、常設オンライン展示場「GUNMA VIRTUAL EXPO」を活用し、リアルとバーチャルのハイブリッドで販路拡大・ビジネスマッチングを支援した。

区 分	事業内容	事業費
群馬ものづくりフェア2021	<緊急事態宣言を受けて開催中止> 日 程：令和3年8月26日、27日 場 所：グリーンドーム前橋	11,826千円
第26回機械要素技術展	日 程：令和4年3月16日～18日 場 所：東京ビッグサイト 出展企業数：31社 商談件数等：2,682件	15,401
VIRTUALものづくりフェア	日 程：令和3年9月1日～30日 出展企業数：154社 来場者数：2,405人	
オンライン展示場 「GUNMA VIRTUAL EXPO」	掲載企業登録数：508社 ユーザー登録数：1,431人	987

- ② 取引の受発注のあっせん、経営及び技術指導、情報提供等の事業を行う群馬県産業支援機構への補助を通じ、下請中小企業の経営の安定化を図った。

区 分	事業内容	事業費
下請中小 企業取引 情報提供等 事業費補助	下請あっせん 企業訪問件数：499件 あっせん件数：276 成約件数：37	12,055千円
	関東5県 ビジネス マッチング 商談会 期 日：令和3年10月18日～29日 参加企業：40社 商談件数：145件	
	個別マッ チング 参加企業：55社 商談件数：96件	

(6) 医療産業振興

決算額

7,982千円

- ① 群馬がん治療技術地域活性化総合特区計画のもと、医療産業拠点形成に向け、参入機運醸成から販路拡大までの各ステージにおける支援策を展開した。

区 分	事 業 内 容	事業費
コーディネーターによる伴走支援	企業訪問件数：216件 マッチング件数：16 国競争的資金獲得支援件数：38	6,272千円

- ② ものづくり企業の事業多角化を支援するため、医療機器・介護用具製造分野について、部材供給や介護・福祉用具開発、実際の現場ニーズを把握できるカリキュラムを実施。

区 分	事 業 内 容	事業費
事業多角化戦略ゼミ ～医療・福祉・ヘルスケア分野編～ (全4回)	期 日：令和3年12月15日 参加者：46人	622千円
	期 日：令和4年1月14日 参加者：45人	
	期 日：令和4年3月2日 参加者：45人	
	期 日：令和4年3月3日 参加者：46人	

- ③ 医療機器等開発を進める企業に対し、展示会等への出展費用を補助し、事業化を支援した。

区 分	事 業 内 容	事業費
ぐんま医療・福祉関連展示会等出展支援補助	支援企業3社	685千円

(7) 地場産業総合振興対策

決算額

32,928千円

- ① 本県繊維産業産地の活性化を図るため、「産地組合」や「企業グループ」が行う事業に対して補助を行った。

区 分	事業者数	事 業 内 容	補助金額
繊維産業産地活性化推進補助	4団体	産地組合等が行う本県繊維製品の販路開拓、地域ブランド確立及び人材育成等に対する支援	8,125千円

- ② 付加価値の高い加工食品の企画開発から販路開拓まで、産学官の連携体制で伴走支援を実施した。

区 分	事 業 内 容	事業費
新商品開発セミナー「商品開発に必要な流通戦略と価格戦略」	期 日：令和3年7月13日 参加者：34人	7,428千円
「ぐんまの食」オンライン商談会	期 日：令和3年9月14日～16日 参加企業：21社 商談件数：95件	

- ③ 地域資源を活用した中小企業者の販路開拓を支援するため、群馬県産業支援機構や金融機関と連携して国際見本市への共同出展を実施した。

区 分	事業内容	事業費
東京インターナショナルギフト・ショー春2022	期 日：令和4年2月15日～17日 会 場：東京ビッグサイト 参加企業：9社 商談件数：32件	2,700千円
FOODEX JAPAN 2022	期 日：令和4年3月8日～11日 会 場：幕張メッセ 参加企業：13社 商談件数：379件	

- ④ 県内食品事業者に対して、マーケティング等の専門家による商品開発の支援を実施した。

区 分	事業内容	事業費
食のいっぴん！プロデュース支援事業	参加事業者：4社	2,684千円

- ⑤ クリエイティブな発想を持つデザイナーと連携して、県内ものづくり事業者の付加価値の高い商品開発の支援を実施した。

区 分	事業内容	事業費
Fashionable Gunma 商品プロデュース	参加事業者：10社	2,826千円

- ⑥ 企業と学生とのデザインマッチングを開催し、若者の感性を取り入れた県内企業によるものづくりを支援した。

区 分	事業内容	事業費
デザインマッチング	実施企業：5社 参加教育機関：3校（県内）	

- ⑦ 自宅での新たな日本酒の楽しみ方の提案として、美味しい「ぐんまの酒と食」のペアリング商品セットの開発等を行った。

区 分	事業内容	事業費
「ぐんまの酒と食」ペアリング提案事業	参加企業：(酒 蔵) 16社 (食 品) 16社 (小売店) 21店	2,042千円

- ⑧ 郷土の自然とくらしの中で生まれ、受け継がれてきた伝統的な工芸品の存在を広く県民に認知してもらうため、展示会を開催した。

区 分	事業内容	事業費
群馬県ふるさと伝統工芸品展	期 日：令和3年10月30日～31日 場 所：群馬県立観音山ファミリーパーク（高崎市） 出展品目：10品目 来場者数：572人	1,603千円

(8) 産業技術センター

決算額 908,844 千円

- ① 県内企業の新製品開発や製品の付加価値の向上に対する支援をより一層充実させるため、試験機器等を整備した。

区 分	機 器 名	事 業 費
産業技術センター整備	電気抵抗測定装置	17,070千円
	ヘッドスペースガスクロマトグラフ質量分析装置	27,302

- ② 中小企業が必要とする技術情報の提供を行うとともに、技術者の研究開発能力の向上、技術課題の解決を図るための人材育成に関する研修等を開催した。

区 分	事 業 内 容
技術情報の提供	産業技術センター技術情報「まる得通信」配信：54,001件 ホームページによる情報提供（アクセス数：144,351件）
中小企業技術研修	受託研修（2課程）受講者：12人

- ③ 企業からの依頼による受託研究、企業とセンターとの共同研究を実施し、企業の技術開発力の向上を支援した。また、国等からの外部資金を積極的に導入し、実用的な研究開発に取り組んだ。

区 分	実施件数	研究経費
公募型共同研究	9件	27,676千円
受託研究	99	75,888
次世代産業創出研究	1	859
試験・分析高度化研究	10	7,398
国等の競争的資金を活用した研究	7	4,290

以上の実用化を前提とする開発研究に取り組んだ結果、5件の特許出願（県と企業等との共同出願）を行った。

- ④ 技術開発に関する企業からの相談や分析・試験・加工等の依頼試験に応じるとともに、センターが保有する計測機器等を開放し、県内企業の製品開発力、技術力の向上を支援した。

区 分	件 数
技術相談	23,372件
依頼試験	25,333
機器開放	2,419

(9) 繊維工業試験場

決算額 193,069 千円

- ① 県内繊維関連企業の製品品質管理や製品開発を支援し、県内繊維製品の高付加価値化を図るため、機器整備を実施した。

区 分	整 備 内 容	事 業 費
繊維工業試験場整備	・赤外分光装置解析システム	7,568千円
	・AI菌数計測システム	1,191
	・デジタルマイクロスコープ	7,979

- ② 中小企業が必要とする技術情報をホームページ・情報誌等で提供するとともに、講師派遣・講演会等を行った。また、中小企業の人材育成のための研修を行った。

区 分	事 業 内 容
技術情報の提供	ホームページによる情報提供（アクセス数：4,126件） 「せんい技術情報」等の発行・発信（延べ4,386件）
研究発表等	研究発表：4件、講師派遣：12件、講演会等：5件
人 材 育 成	専門技術研修（2課程） 受講者：計16人

- ③ 企業と県で研究経費を負担し合う公募型共同研究、企業からの依頼による受託研究、国等の外部資金を活用した外部資金研究及び企業、大学等との共同研究を行い、企業の技術開発力の向上を支援した。

区 分	件 数	研究経費
公 募 型 共 同 研 究	3件	2,000千円
受 託 研 究	8	2,867
外 部 資 金 研 究	6	10,418

- ④ 企業のニーズに応じて、繊維製品に関する物理試験・化学試験をはじめ分析、加工、分解などの依頼試験等を行い、繊維業界の製品開発力・技術力の向上を図った。また、企業の抱える様々な技術問題に対応するため技術相談を行った。

区 分	件 数
依 頼 試 験 等	3,310件
技 術 相 談	3,854

#### 4 観光魅力創出費

##### (1) インバウンド誘客促進

決算額 107,447千円

##### ① 観光情報収集・発信

多言語の観光情報ウェブサイトや SNS の運用により、海外に向けて本県の観光情報を発信したほか、中国語（簡体字・繁体字）及びタイ語の観光情報ウェブサイトを、動画・写真を活用した一目で訪問者を惹きつけるサイトへリニューアルした。

区 分	対 応 言 語	実 績
ウ ェ ブ サ イ ト	英語・中国語（簡体字・繁体字） ・タイ語	セッション（訪問数） 英 語：53,152回 繁体字：8,772 簡体字：3,884 タイ語：30,619 計：96,427
facebook ページ	英語・中国語（繁体字）・タイ語	フォロワー数 英 語：約 7,500人 繁体字：約 13,200 タイ語：約 9,900 計：30,600 (R2年度より6,500人増)
インスタグラム	英語	フォロワー数 約6,000人 (R2年度より1,200人増)

② 広域連携誘客促進

北関東三県や群馬・埼玉・新潟三県連携、北陸新幹線沿線地域との広域連携等により、海外の有力メディアを活用したオンライン事業等を実施した。

区 分	実施内容	実 績
北関東三県広域観光推進協議会	中国向けメディア招請	掲載記事閲覧回数：185万PV
群馬・埼玉・新潟三県相互観光推進	シンガポール等英語圏向けドライブルート動画プロモーション	動画再生回数：37,000回
北陸新幹線沿線地域広域連携	豪州旅行会社とのオンライン商談会、英語圏向け動画等プロモーション、連携サイト運営	商談会参加県内事業者：8社 動画再生回数：24万回 新コンテンツ追加数：5ページ
埼玉県連携台湾訪日教育旅行	地域の特色や地域特性を活かしたテーマ性（サステナブルツーリズム）のある周遊プランの作成、台湾学校関係者等とのオンラインワークショップの実施	周遊プラン作成：計4本 ・高等学校向け2本 ・小中学校向け2本 ワークショップ参加者（台湾）：計12団体 ・小中学校、高等学校9校 ・旅行会社3社
関東観光広域連携事業推進協議会	SNS等オンライン情報発信	閲覧者数：598万人 (連携先含む)

③ 海外セールスプロモーション

欧米豪や台湾等を主なターゲットとして、海外メディアを活用したオンライン記事広告や一般消費者向けオンラインツアー等を実施した。

区 分	実施内容	実 績
豪州スノー関連メディア広告	スノー関連オンラインメディア広告掲載	掲載記事閲覧者数：29万人
台湾メディアプロモーション	オンラインツアー、オンラインメディア広告掲載	オンラインツアー参加者：15人 掲載記事閲覧回数：21,000PV
タイデジタルプロモーション	オンライン調査、記事掲載、SNS投稿・オンライン広告	アンケート回答数：670件 総閲覧数：5,260,447件 クリック数：41,506件
東京都メディアセンター	東京都メディアセンターにおける非公式メディア向け情報発信	ブース来場者数：196人
Googleマイビジネス登録整備	Google検索やGoogleページ上に掲載される自社の情報を正しく表示し、管理するためのツールであるGoogleマイビジネスへの登録促進	登録施設数140件

④ 受入環境整備

外国人誘客に取り組む観光事業者を「外国人誘客のためのパートナー施設（以下パートナー施設という。）」として登録し、さらにパートナー施設の中でも外国人観光客がストレスフリーに滞在するための一定基準を満たしている施設を「Gunma Excellence 施設」として登録した。それぞれの募集・登録を進めるとともに、専門家によるアドバイスや研修会の実施、国際交流員による翻訳支援・情報発信等を行った。

区 分	新規登録数	累計登録数
パ ー ト ナ ー 施 設	46施設	190施設
Gunma Excellence 施設	11施設	58施設

⑤ 海外情報翻訳発信

観光情報の収集・翻訳・発信等を行う会計年度任用職員を雇用し、facebook ページやウェブサイト、各種プロモーション資料等、多言語での本県観光情報発信を行った。

(2) 観光宣伝

決算額 42,780 千円

バラエティに富んだ群馬の山々での山歩きや山麓観光などの魅力を掲載したガイドブックの作成、登山アプリと連動したデジタルバッジ獲得キャンペーンによる誘客促進等に取り組んだ。

また、動画広告の配信及び来訪計測を実施し、より費用対効果の高い広告配信のあり方を探った。

区 分	事業内容	事業費
ぐんまの山岳観光推進	群馬の山々での山歩きや山麓観光などの魅力を掲載したガイドブックの制作・市町村役場及びアウトドア用品店等への配布、登山アプリと連動したデジタルバッジ獲得キャンペーンによる誘客促進等 ガイドブック発行部数：20,000部 デジタルバッジキャンペーン 実施期間：令和3年10月11日～12月9日 デジタルバッジ獲得ユーザー：3,332人	11,977千円
Webマーケティング	動画広告の配信及び来訪計測の実施、分析・効果検証 広告配信期間：令和3年12月24日～令和4年1月16日 広告表示回数：4,127,491回 視聴回数：1,228,870回	6,556
国内広域連携	栃木、茨城の北関東3県の観光動画広告配信等 表示回数：Instagram 539,509回 YouTube 294,987 視聴回数：Instagram 14,860 YouTube 44,599	600

(3) ぐんまビジタートイレ認証

決算額 927 千円

本県を訪れる観光客が使いやすいトイレを「ぐんまビジタートイレ」として認証し、きれいなトイレを確保することにより、県内観光地のイメージアップと集客を図った。

区 分	認証件数
ぐんまビジタートイレ認証件数	235件254箇所
新規認証	5箇所
更新認証	159

(4) 群馬アフターデスティネーションキャンペーン 決算額 16,300千円

ググッとぐんま観光宣伝推進協議会に負担金を支出し、JRグループと地元自治体が連携し、春の観光キャンペーンとして「群馬アフターデスティネーションキャンペーン」を開催した。

区 分	事業内容
群馬アフターデスティネーションキャンペーン	<p>実施期間：令和3年4月1日～6月30日</p> <p>実施内容：県内の観光コンテンツをPRするため、ググッとぐんま公式サイト内で特集記事を情報発信。またSNSで、ぐんまちゃんに体験してほしい企画を投票する「ぐんまちゃんチャレンジ総選挙」を実施。選ばれた企画をぐんまちゃんが体験し、その様子を県YouTubeチャンネル「tsulunos」で公開した。</p> <p>公式サイト閲覧数（R3年4月～R3年6月）：1,244,116PV</p> <p>SNSキャンペーン投票数：290件</p> <p>動画再生回数：1,380回</p>

(5) 愛郷ぐんまプロジェクト 決算額 3,627,204千円

新型コロナウイルス感染症の影響により、県内宿泊施設において多数のキャンセルが発生し、観光需要の落ち込みが見られることから、県民及び隣接県民を対象に宿泊料金の割引を実施することで県内の観光需要を喚起し、併せてマイクロツーリズムの浸透を図った。

区 分	内 容
第2弾宿泊キャンペーン	<p>対象：群馬県民</p> <p>実施期間：令和3年3月26日宿泊分～4月28日宿泊分</p> <p>割引金額：1人1泊6,600円（税込）以上の宿泊の場合 1人あたり5,000円割引</p> <p>対象宿泊施設：729施設</p> <p>事業実績：120,806人泊</p>
第3弾宿泊キャンペーン	<p>対象：群馬県民(1/4以降は、栃木・埼玉・長野・新潟県民追加)</p> <p>実施期間：令和3年10月15日宿泊分～令和4年1月18日宿泊分</p> <p>割引金額：1人1泊6,600円（税込）以上の宿泊の場合 ワクチン2回接種又はPCR検査陰性 1人あたり5,000円割引</p> <p>上記以外 1人あたり3,000円割引</p> <p>対象宿泊施設：782施設</p> <p>事業実績：452,682人泊</p>



**(6)物産振興対策**

決算額

2,706 千円

県産品の普及と品質向上を図るため、(公財)群馬県観光物産国際協会と連携し、県内の百貨店を活用した観光物産展を開催し、県産品の認知度向上と販路拡大を図った。

また、首都圏在住者を対象に本県観光地及び物産品への興味を喚起するオンラインイベントを開催したほか、本県を代表する「近代こけし」について展示販売を行うなど県内物産の振興を図った。

区 分	事業内容	事業費
物産展開催	県産品の認知度を高めるため、群馬の物産を一堂に集めた物産展を開催 ・高崎高島屋 出展者数：55団体 売上げ：27,387千円 ・スズラン高崎店 出展者数：53団体 売上げ：14,674千円 ・スズラン前橋店 出展者数：65団体 売上げ：25,362千円	160千円
魅力発信オンラインイベント	本県の特産品や農畜産物など、「食」を中心とした魅力を発信するオンラインイベントを開催 開催日：令和3年9月26日 参加人数：定員30名	2,198
全群馬近代こけしコンクール	こけしの品質、意匠の改良及び技術の向上を図り、本県の「近代こけし」産業の振興発展に寄与するため、「第62回全群馬近代こけしコンクール」を開催 一般公開日：令和4年2月3日～2月7日 出品数：258点	210

**(7)群馬県観光物産国際協会と連携した観光推進**

決算額

56,163 千円

## ① 観光振興・観光宣伝

Web やメディアを活用して観光情報を発信したほか、関係団体と連携して新たな着地型ツアーの開発等に取り組むことにより本県への観光誘客に努めた。

## ② 物産振興

民間大型商業施設と連携した群馬県産品常設販売コーナー「ぐんまるしえ」の運営、メディアを通じた優良県産品のPRやぐんまカタログギフト販売等により、物産振興に努めた。

(8)大阪事務所運営

決算額 9,804 千円

関西圏において、群馬のイメージアップや誘客促進のため、本県の魅力ある観光地や特産物などを効果的に宣伝したほか、企業誘致活動等を実施した。

区 分	件 数	内 容
観光展・物産展開催	25回 (延べ259日)	イベント開催、観光案内
観光・物産案内状況	3,091人	来所、電話
企業誘致情報収集	47件	企業訪問、企業誘致関連活動

(9)群馬県域DMOの推進

決算額 16,681 千円

多様な関係者と連携して観光地域づくりを進めるため、県域観光地域づくり法人(DMO)である(公財)群馬県観光物産国際協会に事業を委託して実施した。

事業名	内 容	実 績
データプラットフォームの構築	各種のデータ(ビッグデータや統計データ、アンケート調査データ等)を県域DMOに集約し、観光客の動向や地域の課題をテーマに分析レポートを作成し、関係機関等に提供した。	レポート作成 12件 (内訳) 事業効果検証 2件 意識調査 4 データ分析等 6
観光統計整備	データプラットフォーム構築に向けた取り組みの一環として各市町村の観光の現状と課題を把握するため、観光入込客数等の調査を実施した。	四半期調査 35市町村に照会 データ集計・報告 地点調査 県内30地点におけるアンケート調査の実施・集計・報告
ニューノーマル観光地域づくり実装	県内市町村や地域DMO、観光協会等と共通のテーマに基づいて協働し、地域における観光地域づくりの課題解決に向けた取り組みを加速させた。	協働事業実施 5件
中核人材育成	新たな観光地づくりを提案し、自らプロデュースできるクリエイティブ人材を育成するために、5期目となる「ぐんま観光リーダー塾」を実施した。	講義・フィールドワークの実施 8件 (実施期間： 令和3年10月10日～ 令和4年1月15日)

(10)首都圏情報発信

決算額 85,967 千円

首都圏における本県の情報発信拠点として、パブリシティ活動や物産販売、飲食提供、観光・イベント情報の効果的な発信等を実施し、群馬の魅力を総合的にPRした。

① パブリシティ活動・ツアー造成

在京テレビ局や新聞社、出版社等への取材協力や情報提供等を積極的に行い、本県の露出度アップを図った。また、旅行エージェントへの旬な観光情報の提供等により、

本県へのツアー造成を促進した。

② 来場者数・売上額

アンテナショップでの物産販売・飲食提供のほか、都内の百貨店等で観光PRや物産販売を行う「出張ぐんまちゃん家」を行った。

区 分		令和3年度	令和2年度	前年度比
パブリ シティ 活動	テレビ・ラジオ放送実績	216件	165件	131%
	新聞・雑誌等掲載実績	403	139	290
	広告料換算額	21億9千万円	18億6千万円	118
ツアー造成件数		59件	30件	197
来場者数		13万5千人	15万2千人	89
売上額		9,298万円	8,934万円	104

5 イベント産業振興費

(1) イベント産業振興

決算額 218,685 千円

① Gメッセ群馬の運営

検温、館内の消毒、換気運転の強化、会場のスケールアップ、警戒度4の期間のキャンセル料返還等の新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、指定管理者による適正な施設の管理運営を行った。

ア 令和3年度 利用実績

- ・件数：871件
- ・日数：360日（うち展示ホール233日、メインホール199日）
- ・日数稼働率：施設全体98.6%、展示ホール75.9%、メインホール63.4%
- ・催事別内訳

催事種別	学会・大会	講演会・セミナー	会議	展示会	試験・就職説明会	式典	その他イベント	コンサート・ライブ	その他興行
件数	18	137	435	47	164	11	53	1	5

イ 令和3年度 収支実績

- ・収入：1,064,652千円、支出：596,612千円、収支：468,040千円

② Gメッセ群馬の改修・修繕

利用者の利便性、安全対策の向上を図るため、駐車場認証機追加工事等を実施した。また、施設の不具合に応じ、大会議室音響改善工事等を実施した。

③ MICEの推進

Gメッセ群馬を核として、これまで県内で開催できなかった大規模なMICEの誘致活動を行うとともに、全県的なMICE誘致に向け、県コンベンションビューローによる誘致活動及び開催支援を行った。

また、世界が注目するG7サミット関係閣僚会合開催地に群馬県として初めて立候補した。

※MICEとは、企業等の会議(Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行(Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う会議(Convention)、展示会・見本市、イベント(Exhibition/Event)の頭文字を使った造語で、これらのビジネスイベントの総称。

※G7サミットとは、主要7か国とEUの首脳が参加し、その時々国際情勢につい

て議論する国際会議で、2023年に日本で7年ぶりに開催される。首脳会議にあわせて、全国各地で関係閣僚会合の開催が予定されている。

④ イベント産業の振興

県内イベント産業関連事業者がMICEによってもたらされるビジネスチャンスを獲得できるよう、主催者とのマッチング支援を実施した。

コロナ禍におけるイベント開催手法を学ぶため、「With コロナ時代のイベント・MICEに求められるものはなにか？」をテーマとしたハイブリッド形式のセミナーを開催した。

令和3年度マッチング支援実績

・件数：56件

区 分	事業内容
コンベンションパートナー・コンベンションビューロー向けセミナー	期 日：令和4年2月18日 参加者：70人

(2) Gメッセ群馬維持整備

決算額

21,877千円

Gメッセ群馬敷地内及び周辺の施設環境の維持保全のため、指定管理業務委託範囲外の北口線植栽管理工事、雨水排水ポンプ設備点検保守業務、雨水貯留槽点検清掃業務を実施した。

6 eスポーツ・新コンテンツ創出費

(1) eスポーツ推進

決算額

65,265千円

① U19e スポーツ選手権 2021 開催

本県のブランド力向上及び県内関連産業育成を図るため、19歳以下のチームによるeスポーツ大会「U19e スポーツ選手権」を開催した。

区 分	事業内容
予 選	開催日：令和3年9月19～20日（オンラインで開催） 参加チーム：71チーム
決 勝	開催日：令和3年11月14日 場 所：Gメッセ群馬、メインホール 動画視聴回数：6,500回（令和4年5月31日現在）

② 全日本eスポーツ実況王決定戦

本県のブランド力向上及び県内におけるeスポーツの活性化を図るため、eスポーツ周辺産業として近年、人気の高まりを見せるゲーム実況者を対象とした全国初の対抗戦「全日本eスポーツ実況王決定戦」を開催した。

ア トークイベント「eスポーツ実況者の世界」

開催日：令和3年9月27日（動画・放送スタジオ「tsulunos」から配信） 動画視聴回数：770回（令和4年5月31日現在）
--

イ 第1回全国eスポーツ実況王決定戦

区 分	事業内容
予 選	開催日：令和3年10～11月（提出された実況動画を審査） 参加者：52名
決 勝	開 催 日：令和3年11月28日 場 所：Gメッセ群馬 メインホール 動画視聴回数：7,100回（令和4年5月31日現在）

③ 群馬県企業等対抗社会人eスポーツリーグ（愛称：GUNMA LEAGUE）

社内コミュニケーションの活発化や趣味を通じた社外人材との交流促進、若者層への企業認知度向上を目的に、県内の企業対抗eスポーツ大会を開催した。

区 分	事業内容
予 選	開 催 日：令和4年1月19日、26日、2月2日（オンライン） 参加チーム：24チーム
決 勝	開 催 日：令和4年2月11日、23日 場 所：GUNMA eSPORTS 参加チーム：8チーム 動画視聴回数：3,300回（令和4年5月31日現在）

④ 教育的eスポーツの推進

コミュニケーション能力の向上など、eスポーツの教育的効果を活用する「教育的eスポーツ」推進するため、フォーラムを開催した。

フォーラム名：湯けむりフォーラム「教育的eスポーツとは？」 開 催 日：令和3年9月15日 場 所：動画・放送スタジオ「tsulunos」 動画視聴回数：1,200回（令和4年5月31日現在）
---

⑤ eスポーツ関連産業・人材育成

eスポーツ関連産業の振興や人材の育成を図るため、イベントノウハウを学ぶセミナー等を開催するとともに、就職氷河期世代向け就労支援のための研修を実施した。

ア セミナー等開催

Red Bull 5G ×群馬県 「eスポーツワークショップ」	開 催 期 間：令和3年7～10月 場 所：県庁舎、GUNMA eSPORTS、オンライン 参 加 者：（学生）18人 （社会人）19人
「Red Bull 5Gに学ぶイベント運営ノウハウの秘訣」	開 催 日：令和4年2月15日 場 所：群馬産業技術センター 参 加 者：20人
トーク&セミナーイベント 「GUNMA × C4 LAN」	開 催 日：令和4年3月22日 場 所：動画・放送スタジオ「tsulunos」 動 画 数：3本 動画視聴回数：510回（令和4年5月31日現在）

イ 就職氷河期世代向け人材育成就労支援

区 分	事業内容
eスポーツから学ぼう！就職氷河期世代向け及び県内事業者向け研修	就職氷河期世代向け 開催日：令和3年10月23日、31日 場 所：オンライン、GUNMA eSPORTS 参加者：9名
	県内事業者向け 開催日：令和3年10月14日、21日（又は22日）の2日間 場 所：オンライン、GUNMA eSPORTS 参加者：13名
就職氷河期世代向けサイバーセキュリティ研修	開催日：令和4年1月30日、2月6日、27日、3月6日 場 所：オンライン、群馬産業技術センター 参加者：20名

⑥ 福祉分野（障がい者、高齢者）での活用

年齢・性別・身体能力等の差が少なく、誰でも参加しやすいeスポーツの特徴を活かし、県立特別支援学校や、障がい・高齢関係団体と連携の上、福祉分野でのeスポーツ活用に取り組んだ。県立特別支援学校では授業へのeスポーツの導入にあたり、「eスポーツについて」の講座を実施し、機材等の購入支援も行った。また、障がい者eスポーツ体験講座では機材等の購入支援、シニアeスポーツ体験講座では講師派遣を行った。

ア 特別支援学校におけるeスポーツ活用

区 分	事業内容
あさひ特別支援学校	令和3年10月：保健体育の授業8回（週2回） 自立活動の授業2時間（2週に1回） 令和3年11月～4年3月：自立活動の授業（2週に1回）
二葉特別支援学校	令和3年11～12月：保健体育の授業8回（週1回）

イ 障がい者eスポーツ体験講座

区 分	事業内容
障がい者向け	開催日：令和3年11月13日 場 所：上毛新聞TR 参加者：12名（障がい者手帳を持つ方又は準ずる方）
職員向け	開催日：令和4年2月21日 場 所：県立ふれあいスポーツプラザ 参加者：スポーツプラザ職員及び障害者スポーツ協会事務局員

ウ シニアeスポーツ体験講座

開催日：令和3年12月6日 場 所：群馬県社会福祉総合センター 参加者：10名（県内在住60歳以上）
--

(2)新コンテンツ創出

決算額

43,222 千円

① デジタルクリエイティブ人材育成

中長期的視点に立ち、ぐんまのクリエイティブ拠点化を推進するため、デジタルクリエイティブ人材育成拠点「tsukurun -GUNMA CREATIVE FACTORY-」を整備し、運用を開始した。

ア 施設の概要

施設の概要
場 所：アクエル前橋 2 階
面 積：約 145 m <sup>2</sup>
対象者：県内在住在学の小中高生
開所日：令和 4 年 3 月 8 日
体験できる主な技術：3DCG、2DCG、ゲームエンジン、VR、VFX など

イ 令和 3 年度利用実績

令和 3 年度利用実績
利用者人数：218 人
イベント実施数：4 回

② クリエーターネットワークの構築

群馬県在住・出身のクリエイターを紹介するインタビュー番組「GUNMA CREATOR'S VISION」を YouTube で配信した。

配信の概要
第 1 回 GUNMA CREATOR'S VISION
・クリエイター名：モニョチタポミチ氏（イラストレーター）
・配信日：令和 3 年 12 月 16 日（木）
・動画視聴回数：494 回（令和 4 年 5 月 18 日時点）

(3) ロケ誘致推進

決算額

24,293 千円

① ロケ誘致の基盤強化

ぐんまフィルムコミッションを総合窓口として、県内のフィルムコミッション・市町村との連携体制を強化し、映画・ドラマ等の撮影支援を実施した。

区 分	件数
映 画 ・ ド ラ マ の 支 援 等	・相談件数：427 件 ・支援件数：37

② 県内ロケ支援体制

県内ロケ受入体制拡充のため、撮影に活用できるロケ地やロケ弁・機材レンタル等で撮影を支援する事業者の開拓・ホームページの掲載を実施した。

区 分	件 数	事業費
県内ロケ支援体制ビルドアップ	・ロケ地：200 件 ・撮影を支援する事業者：50 社	11,899 千円

③ 制作会社向け県内ロケ地 PR

フリーランスの県外若手映像クリエイターが県内 10 地域で映画等の撮影に最適なロケ地を探し出し、制作会社向けの PV10 本+総集編 1 本を制作し、公開した。

区分	事業内容	事業費
県内ロケ地 PV 制作	公開日：令和 4 年 3 月 3 日 公開件数：11 本 (地域フィルムコミッション編 10 本 + 総集編 1 本) 動画視聴回数：625 回 (総集編/令和 4 年 6 月 29 日現在)	11,729 千円

④ 情報発信

ぐんまフィルムコミッションの専用サイト・SNS を活用し、撮影を支援した作品のロケ地等を PR した。

区 分	件 数
ぐんまフィルムコミッション専用サイト	ページビュー (閲覧数)：307,878 回 (期間：令和 3 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日まで)
T w i t t e r	インプレッション数 (閲覧された回数)：1,419,130 回 (期間：令和 3 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日まで)